

題：『神は本当に言われたのですか』

賛美：新聖歌 515 番「わが罪のために」
聖書箇所：創世記 3 章 1 節～23 節

今日は『神は本当に言われたのですか』という、蛇・サタンのことばから題をつけさせていただきました。

ヨハネの福音書は『初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった』で始まっています。狡猾なサタンも、そのことばを巧みに操ります。

創世記 3 章は「原罪」について記されています。今日はこのところから共に学んでいきたいと思います。

「原罪」を辞書で調べますと、「キリスト教で人類の祖が犯した最初の罪のこと。蛇にそそのかされたイブ（エバ）とともにアダムが神にそむいて禁断の木の実を食べたことが旧約聖書・創世記に記されている。アダムの子孫である人間は生まれながらに罪を負うとされる。」と書かれています。

これをただ単に「神話」とみるか、「神様のことば・神様の物語」と捉えるかによって生き方が全く変わってくるわけです。

今日は①神様がアダムに言われたことば。

②蛇がエバに言ったことば

③人間の思い、欲望（神のことばに付加と削除）

④罪のなすりあい（責任転嫁、自己保身・弁護）

⑤罪の報い（産みの苦しみと労働）

⑥神のあわれみ

について聖書から見ていきたいと思います。

① 神様がアダムに言われたことば

創世記 2 章 16 節『神である主は人に命じられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。

17 節：『しかし、善悪の知識の木からは、食べてはならない。その木から食べるとき、あなたは必ず死ぬ。』』

18 節：また、神である主は言われた。「人がひとりでいるのは良くない。わたしは人のために、ふさわしい助け手を造ろう。』』

② 蛇がエバに言ったことば（誘導尋問）

3 章 1 節：『さて蛇は、神である主が造られたあらゆる野の生き物のうちで、ほかのどれよりも賢かった。

蛇は女に言った。「園の木のどれからも食べてはならないと、神は本当に言われたのですか。』』

【誘導尋問：尋問の中に尋問者の望む答えが暗示されている尋問】

③ 人間の思い、欲望（神のことばに付加と削除）

2 節：女は蛇に言った。「私たちは園の木の実を食べてもよいのです。

3 節：しかし、園の中央にある木の実については、「あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけないからだ。」と神は仰せられました。』

（申命記 4：2『私があなたがたに命じることばに、付け加えてはならない。また、減らしてはならない。』）

4 節：すると、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。」

5 節：それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたは神のようになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです。」

【自由意思：自己選択・自己決定】

6 節：そこで、女が見ると、その実は食べるのに良さそうで、目に慕わしく、またその木は賢くしてくれそうで好ましかった。それで、女はその実を取って食べ、ともにいた夫にも与えたので、夫も食べた。

（Ⅰヨハネ 2：16『すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。』

7 節：こうして、ふたりの目は開かれ、自分たちが裸であることを知った。そこで彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちのために腰の覆いを作った。

④ 罪のなすりあい（責任転嫁、自己保身・弁護）

8 節：そよ風の吹くころ、彼らは、神である主が園を歩き回られる音を聞いた。それで人とその妻は、神である主の、御顔を避けて、園の木の間に身を隠した。

9 節：神である主は、人に呼びかけ、彼に言われた。「あなたはどこにいるのか。」

10 節：彼は言った。「私は、あなたの足音を園の中で聞いたので、自分が裸であることを恐れて、身を隠しています。」

11 節：主は言われた。「あなたが裸であることを、だれがあなたに告げたのか。あなたは、食べてはならない、とわたしが命じた木から食べたのか。」

12 節：人は言った。「私のそばにるようにとあなたが与えてくださったこの女が、あの木から取って私にくれたので、私は食べたのです。」

13 節：神である主は女に言われた。「あなたは何ということをしたのか。」女は言った。「蛇が私を惑わしたのです。それで私は食べました。」

（ヤコブ 1：14～15『人が誘惑にあうのは、それぞれ自分の欲に引かれ、誘われるからです。そして欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。』）

⑤ 罪の報い（産みの苦しみと労働）

15 節：わたしは敵意を、おまえと女の間に、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。

16 節：女にはこう言われた。「わたしは、あなたの苦しみとうめきを大いに増す。あなたは苦しんで子を産む。

17 節：また、人に言われた。「あなたが妻の声に聞き従い、食べてはならないと、わたしが命じておいた木から食べたので、大地は、あなたのゆえにのろわれる。あなたは一生の間、苦しんでそこから食を得ることになる。

⑥ 神のあわれみ

21 節：神である主は、アダムとその妻のために、皮の衣を作って彼らに着せられた。

アブラハムがイサクを捧げようとした時『主の山に備えあり』とイサクに代わって羊が捧げられたように、「神のあわれみ」はこの時から、いや天地万物を造られたときから備えて下さっていたのです。

御子イエス・キリストをこの地上におくり、私たちの罪の贖いとして、十字架におかけ下さったのです。私たちが自分の罪を悔い改める時、この救いの道が開かれるのです。

この福音を一人でも多くの方に伝えてまいりましょう。